

山都町国保医療費の約4割は生活習慣病

今回は医療費について、国と山都町国民健康保険（以下山都町国保）を比較しながら説明します。全ての国民が、何らかの公的健康保険に加入し保険証を持っている。誰でも必要な医療を受けることができるのが、日本の医療保険制度の極めて優れている点です。しかし、この日本の医療保険制度がこのままでは破たんするのではないかと危ぶまれています。その大きな要因となっているのが**生活習慣病の増加**による医療費の増加です。

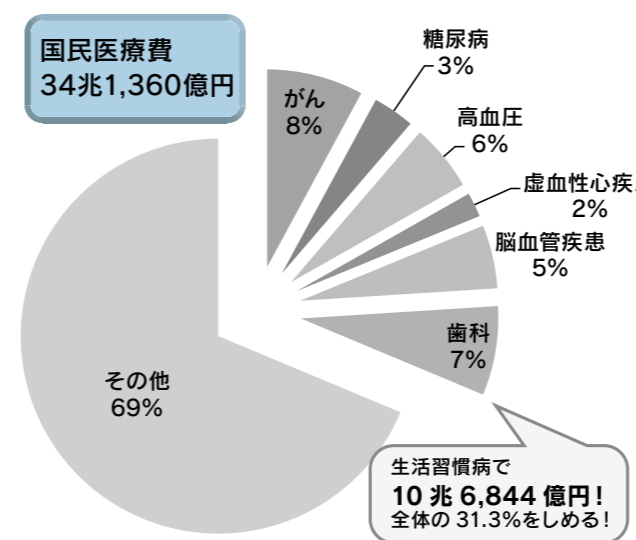
糖尿病は国の約3倍！

平成19年度厚生労働省公表の国民医療費を表1に示しています。医療費は年々増大し、平成19年度には34兆円と国民所得の9%以上となっており、その内訳は生活習慣病に関連するものが約3分の1を占めています。

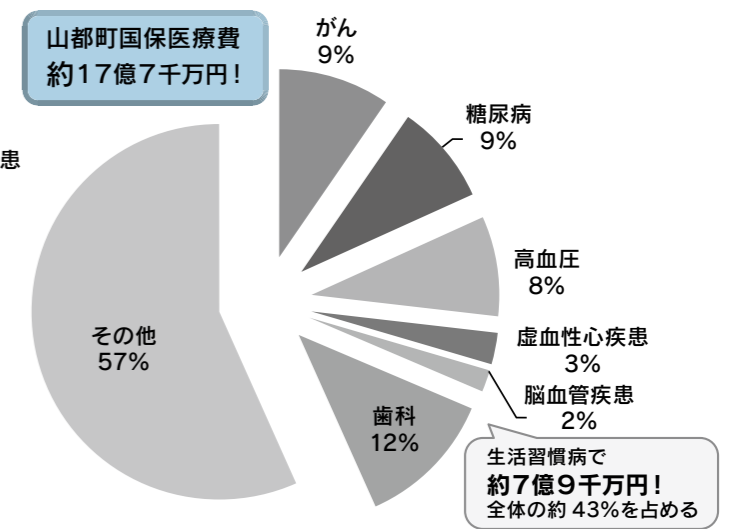
次に平成21年度の山都町国保の医療費の状況です。（表2）山都町国保の医療費は約18億円で、その内訳は、がん、糖尿病、高血圧、虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症などの心臓病）など生活習慣病に關係する病気となっており、国の医療費と比較して高い割合を示しています。国が全体の31%であるのに対し、山都町国保では全体の43%を占めています。

特に糖尿病は国が約3%に対し、山都町国保では9%と約3倍高いことがわかります。また、高血圧も国と比較すると同様に高い状況にあります。

(表1) 国民医療費における生活習慣病の割合



(表2) 山都町国保医療費に占める生活習慣病の割合



おすすめ生活習慣! 食事編3カ条

- ① 食事の最初に野菜料理を1皿たべよう。
- ② ゆっくりよく噛んでたべよう。
- ③ 晚ご飯から寝るまでの間食をやめよう。

早期発見と生活改善で悪化予防!

生活習慣病は発症して症状が進行してしまうと完治が難しくなります。合併症をおこしてさらなる病気を招いたり、長期間にわたる通院や入院治療で医療費が増加していきます。

しかし、生活習慣病は生活習慣の改善で予防できる病気です。健診を受けて生活習慣を見直し改善をすれば、重症化しないと言われています。早い段階で病気を発見して治療をしましょう。

医療保険制度を守るためには、生活習慣病の増加を抑え病気を未然に防ぐ努力や悪化を防ぐ努力が必要です。

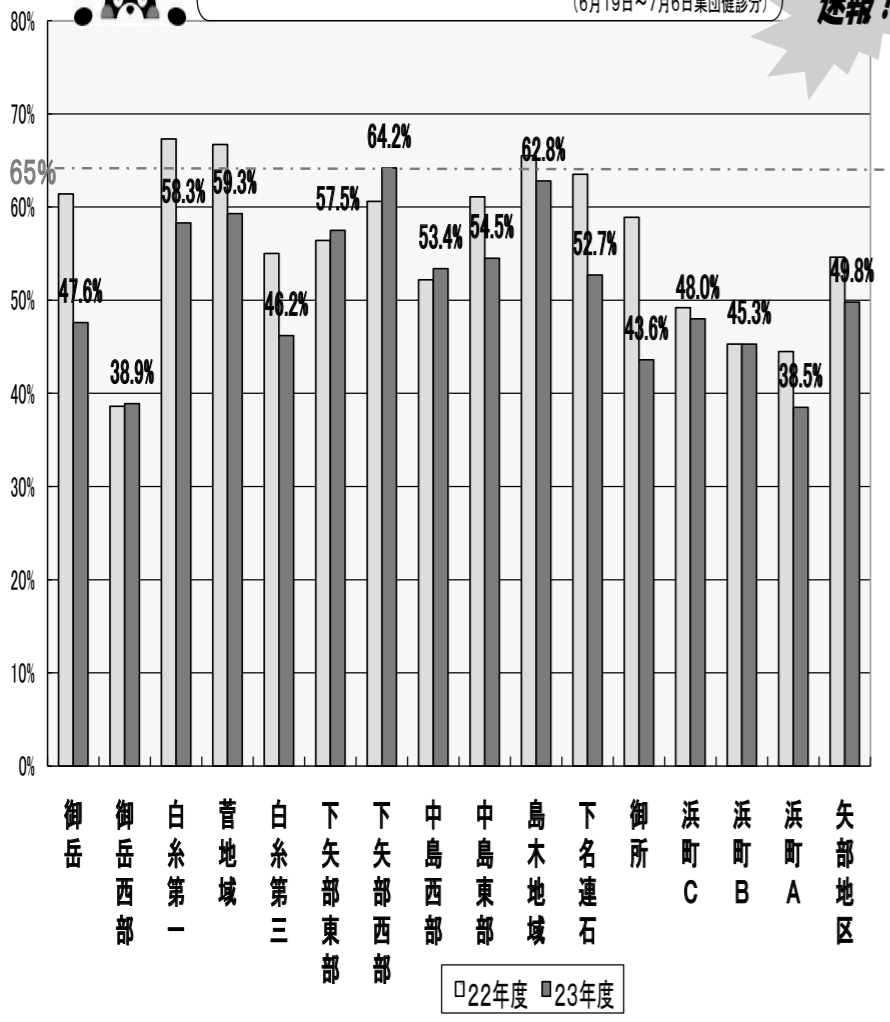
町民全員で生活習慣の改善に取り組みましょう。

集団健診速報!

矢部地区の集団健診が終了しました。昨年度の受診率は、集団健診と節目健診を合わせたものですが、今年度は、集団健診のみの受診率になります。昨年より受診率の増加している地区は、下矢部東部地区・下矢部西部地区・中島西部地区の3か所です。それ以外の地区は昨年より受診率が低い傾向にあります。矢部地区では11月30日、蘇陽地区では平成24年2月23日に予定しています。

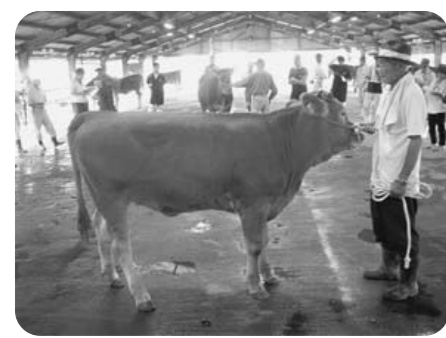
平成23年度矢部地区特定健診受診率

(6月19日~7月6日集団健診分)



自慢の牛を出展 畜産共進会予選会

9月1日、矢部・清和地域肉用牛振興協議会主催による第9回宇城・上益城地域統一畜産共進会予選会が熊本県畜産農業協同組合矢部畜産指導センターで開催されました。入賞結果をご紹介します。



■褐毛和種若齢の部 名誉賞首席 ひめ号 藤本洋一さん (郷野原)



■褐毛和種壯齢の部 名誉賞首席 あやか号 楠村嘉朗さん (白小野)



■黒毛和種若齢の部 名誉賞首席 ゆりこ号 高本稱助さん (安方)



■黒毛和種若齢の部 名誉賞首席 ふくたか4号 吉田三千夫さん (米生)